

令和4年度第2回ちよだアートスクエア評議委員会 議事要旨

1. 日時 令和5年3月20日(月)15時05分～16時10分
2. 場所 千代田区役所8階 第3・4委員会室
3. 内容 ちよだアートスクエア令和4年度事業実施報告

出席者 10名(敬省略)

【委員】椿昇(委員長・学識経験者)、長田哲征(副委員長・学識経験者)、岡田勉(学識経験者)、服部浩美、小林俊司、新井美智子、久保田富三郎、恩田浩行(区)

【合同会社コマンドA】小池一子、中村政人、佐々木浩一

はじめに、ちよだアートスクエアの運営事業者である合同会社コマンドAが令和4年度事業実施報告を行った。その後、委員より、報告内容やこれまでの約13年間の事業実績に対してご意見をいただいた。

合同会社コマンドAからの実施報告は以下のとおり。

(アーツ千代田 3331 令和4年度事業実施報告資料による)

- ・新型コロナウイルス感染による影響
- ・令和4年度事業実施と来場者一覧
- ・自主企画展覧会事業(「3331 ART FAIR 2022」、「3331によって、アートは『 』に変化した。」他)
- ・協力・共催事業(「平田哲郎個展『芸術か科学か』」、「東京ビエンナーレ2023 はじまり展」他)
- ・委託事業(「ポコラート全国公募 vol.10」、「かえっこバザール in 千代田×アーティスト・イン・レジデンス」他)
- ・千代田アートコミュニティクラブ(「開館12周年記念式典&パーティー」、「明後日朝顔プロジェクト in 千代田」)
- ・アーティスト・イン・レジデンス事業
- ・入居団体イベント
- ・スペースレンタル事業
- ・地域連携プログラム
- ・その他自主企画プログラム
- ・講演等出演数
- ・公式視察
- ・プレス内容

評議委員会委員より出された主な意見は以下のとおり。

- ・アーツ千代田 3331 が閉館するのは悲しい。これまでの活動を今後活かして欲しい。
- ・文化芸術活動は継続性が重要である。
- ・アーツ千代田 3331 が開館したときから地域の代表として関わることができて大変うれしい。

以上